

令和2年2月21日

保護者各位

東京学芸大学附属高等学校
校長 大野 弘

新型コロナウイルス等の感染予防と今後の対応について

残寒の候、保護者の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

すでに報道のとおり、新型コロナウイルスの感染者が日本国内でも多く報告されています。感染予防対策については、2月17日付けで厚生労働省から、「新型コロナウイルスを防ぐには」という文書が発信されました。（<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000596861.pdf>）また、2月18日付けで文科省から、対策のポイントをまとめた文書が届きました。新型コロナウイルス感染症については日々状況が変化していることから、関連ホームページで最新の情報を収集し、必要に応じて保護者の皆様にも周知して参りますのでよろしくお願い致します。

記

1. 基本的な感染症対策の徹底

手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底する。

2. 日常の健康管理や発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応

免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスのとれた食事を心がける。

3. 生徒に発熱等の風邪の症状が見られるときは、無理をせずに自宅で休養する。

（自宅休養する場合は、必ず学校にご連絡ください。）

4. 自宅休養した場合の出欠の扱いについては「学校保健安全法第19条による出席停止」扱いとする。（登校には、症状が快復したことの学校への報告が必要になります。）

なお、今回の新型コロナウイルス感染症に関し、風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合には、最寄りの保健所などに設置される「帰国者・接触者相談センター」に問い合わせをして指示を仰いで下さい。

また、卒業式などの学校行事等における感染症対策として、こまめな換気を実施するとともに、会場の入り口にアルコール消毒液を設置するなど、可能な範囲での対応を検討します。

以上